

学校だより

No.16

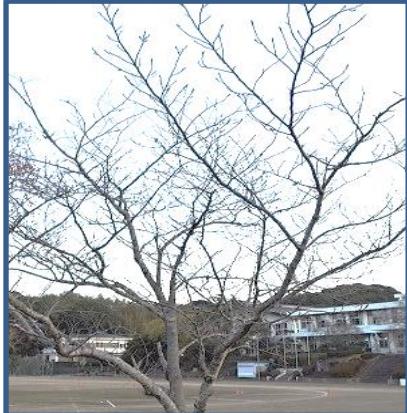
くろしお



令和7年2月13日発行

日南市立南郷小学校

冬來たいなば春遠からじ



暦の上では春ですが、まだまだ寒い日が続いています。学校の校門にある桜も蕾のままでです。でも、じっと寒さに耐え、咲くタイミングを待っているのだと思います。卒業、修了まであと1ヶ月と少し。最後はみんな笑顔の花を咲かせて、今の学年が終わるといいなあ。今がんばっていることが、きっと花を咲かせます。

新春子どもの声を聴く会

1月21日(火)に「新春子どもの声を聴く会」がありました。市内の各小・中学校の代表が自分の考えや思いを発表する場です。本校からは、6年生が発表しました。とてもすばらしい内容でしたので、紹介します。

みんなが幸せに暮らせる社会にしたい

6年

みなさん、「福祉」について考えたことがありますか。私が思う「福祉」とは、全ての人が平等で幸せに暮らすために、お手伝いをすることです。それは、家族や友達だけではなく、知らない人でも困っていたら、思いやりの心をもって接し、たくさん的人が安心に暮らせるように支えることが大切だと思います。

私がこのように思うようになったきっかけの一つは、母親の姿です。母は、看護師をしていました。私が小さい頃から、困っている多くの患者さんを救うために働いています。家にいても、病気の事や薬の事を勉強しています。土日や祝日も働き、仕事が休みの時でも研修で家にいないこともあります。寂しい思いをしたこともありました。でも、今は母の「一人でも多くの人を救ってあげたい」という気持ちが分かります。患者さんに寄り添つてあげたいという気持ちが伝わります。そういう母の姿を見て、私にも何かできることがないかと考えるようになりました。

国語の授業に「発信しよう、私たちの SDGs」という单元があり、福祉について調べたことがありました。世界には、5歳になる前に命を落としてしまう赤ちゃんや幼い子どもが、1年間に約500万人いるようです。人生が始まつばかりなのに、楽しいことがたくさんあるのに、それを経験することができないなんて、とても悲しいことです。また、日本でも児童ぎやくたいという現実があり、これは20年前から被害が10倍以上増えているそうです。少しでも多くの人を救うことはできないだろうかと考えるようになりました。

今の私に、すごい力はありません。でも、コンビニの募金箱に入れたり、朝のボランティア活動でいさつ運動や落ち葉はきをしたりして、今の私にできることをしています。今後は、小さくなった服を寄付したり、小さな子どものための学習支援や子ども食堂のお手伝いなどのボランティア活動をしたりしてみたいです。人と人がつながり、協力することで、思いやりの輪が広がり、幸せを感じる人が増えていくといいなあと思います。

これからも、私にできることをさがしていきます。みなさんで、全ての人が平等で幸せになり、笑顔で暮らしていく世の中になるように、考えていませんか。

《行事いろいろ》



【よのなか先生：6年生】



【炊き込みご飯づくり：4年生】



【市PTA大会アトラクション】

<3月の主な行事>

- 3月 3日（月）読み聞かせ（下学年） 委員会活動
- 4日（火）卒業式練習（6年）
- 5日（水）卒業式練習（5・6年）
- 10日（月）卒業式練習（6年）
- 14日（金）卒業式練習（5・6年）
- 17日（月）エプロン給食～24日まで
- 24日（月）卒業式前日準備（5年）
- 25日（火）卒業式 ※1～4年は9：10下校
- 26日（水）修了式 ※11：30下校
- 28日（金）離任式（午前中、時間等は別途連絡）

南郷小ホームページ
にいきます。

